



2020年5月14日

各位

会社名 鈴茂器工株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 美奈子
 (コード番号: 6405 東証 JASDAQ)
 問合せ先 経営企画部長 秋田 一徳
 (TEL. 03-3993-1396)

業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正について（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,550	600	600	200	30.88
今回修正予想 (B)	8,930	765	702	321	49.74
増減額 (B-A)	380	165	102	121	—
増減率 (%)	4.4%	27.5%	17.0%	60.5%	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	8,186	692	696	468	72.35

2. 2020年3月期通期個別業績予想数値の修正について（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,600	480	130	20.07
今回修正予想 (B)	7,835	622	301	46.64
増減額 (B-A)	235	142	171	—
増減率 (%)	3.1%	29.6%	131.5%	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	7,285	566	393	60.69

3. 修正の理由

通期の売上高につきましては、国内における外食や小売業を中心とした既存顧客への小型機械の入替および増設、新規開発大型機械の販売が堅調に推移しました。また、消費増税前の駆け込み需要が想定を上回り、反動減の影響も少なく、第4四半期においては新型コロナウイルス感染症の影響が少なかったため前回公表予想を上回る見通しとなりました。

通期の営業利益、経常利益につきましては、前述の売上高が予想を上回る見通しとなったことのほか、売上原価率、販売費及び一般管理費が概ね計画通り推移し、前回公表予想を上回る見通しとなりました。

通期の親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の要因に加えて、退任役員の保険解約返戻金を特別利益として計上した結果、前回公表予想を上回る見通しとなりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以上